

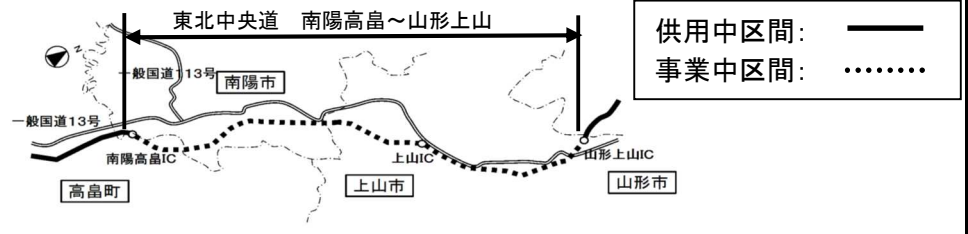
再評価結果(平成27年度事業継続箇所)

担当課:道路局 高速道路課

担当課長名:吉岡 幹夫

事業名	東北中央自動車道(南陽高畠 ^{なんようたかはた} ～山形上山 ^{やまがたかみのやま})		事業区分	高速自動車国道	事業主体	東日本高速道路(株)
起終点	自:山形県東置賜郡高畠町大字深沼 ^{ひがしおいたま たかはたまち ふかぬま} 至:山形県上山市金瓶 ^{かみのやましかなかめ}			延長	24km	
事業概要	東北中央自動車道は、福島県、山形県、秋田県の主要地方都市を結び、産業、経済、文化の文化の発展に資する路線である。					
H17年度事業化	H2年度都市計画決定(上山～山形上山) H8年度都市計画決定(南陽高畠～上山)		H21年度用地着手		H23年度工事着手	
全体事業費	約1,102億円	事業進捗率	13%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	9,500台～10,300台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 2.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 885 / 1,144億円 (事業費:705 / 963億円) (維持管理費:181 / 181億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 2,457 / 2,457億円 (走行時間短縮便益:2,022 / 2,022億円) (走行経費減少便益:323 / 323億円) (交通事故減少便益:112 / 112億円)	基準年 平成26年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C = 2.5～3.1 (交通量 ±10%) 事業費変動 : B/C = 2.6～3.0 (事業費 ±10%) 事業期間変動 : B/C = 2.7～2.9 (事業期間±1年)					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土地域ネットワークの構築(当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する) 災害への備え(緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する) 安全で安心できるくらしの確保(三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる) 他 6項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見	山形県知事の意見:「東北中央自動車道 南陽高畠～山形上山」を「事業継続」とすることについて、同意します。 東北中央自動車道は、格子状骨格道路ネットワークを形成し、災害時の広域的代替機能の強化や救急医療への対応はもとより、産業、経済、観光の振興を図るためにも極めて重要で必要不可欠な道路でありますので、一日も早い開通を希望します。					
事業評価監視委員会の意見	対応方針(原案)のとおり了承。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	なし					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得中であるが、H23年度から土工工事に先立ち試験盛土工事等に着手し、試験施工を完了。本線工事はH24年度から順次着手している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成30年度の完成を目指して事業を着実に推進している。					
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。